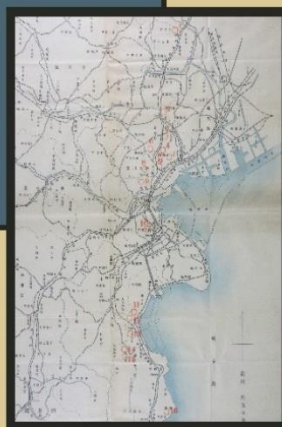


「記録が語る昭和の戦争 ―公文書館資料でたどる―」

令和7年度企画展示

記録が語る昭和の戦争

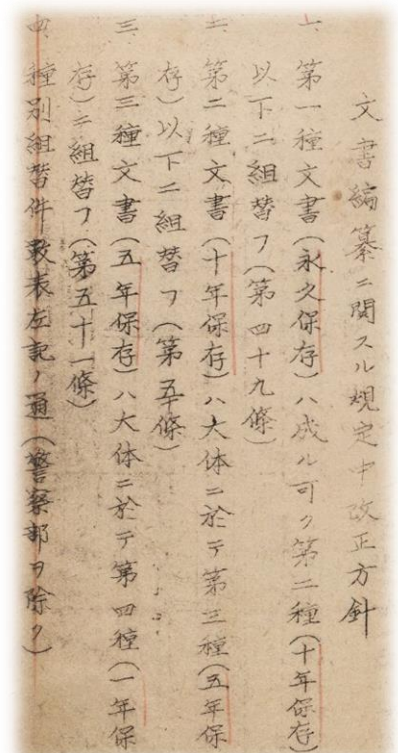
公文書館資料でたどる



詳しくはこちらから→



番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
序章 戦争による記録の喪失				
0-1	決戦非常措置要綱（抜粋）	昭和19(1944)年2月25日、東条英機内閣は国家総動員法の実効性を高めるため、本要綱を閣議決定します。学徒動員や疎開の促進、旅行の制限など国民生活の広範に及ぶ内容で、官公庁における文書等の保存期間短縮やその積極的供出も盛り込まれていました。	昭和19 (1944)年	—
0-2	官庁ノ文書物品等ノ整理並ニ其ノ積極的活用供出ニ関スル件	「決戦非常措置要綱」の閣議決定から3日後の次官会議において、官庁における文書及び物品の整理・供出に関する方針が決定されました。官庁で保存している文書を徹底的に見直し、必要な文書以外はすべて廃棄すること、廃棄した文書は再生紙の原料とすることなどが定められています。	昭和19 (1944)年	国立公文書館 所蔵資料
0-3	神奈川県処務細則中改正ニ関スル件	国の方針決定を受け、神奈川県でも早々に文書の保存期間短縮と廃棄促進に着手します。当時の文書管理は組織構成や事務分掌、執務の手順等を定めた「処務細則」で規定されていましたが、この処務細則を改正し、文書の保存期間の区分を変更（短縮）することにより、保存文書の廃棄を強力に進めていきました。	昭和19 (1944)年	1199410970
0-4	文書編纂ニ関スル規定中改正方針	文書の保存期間見直しの方針として知事官房から全庁に示されたのが、本方針です。当時の保存期間の区分は永久・10年・5年・1年の4区分でしたが、この方針では、原則としてそれぞれ一つ下位の区分に組み替えることを求めています。	昭和19 (1944)年	1199410970
0-5	神奈川県庁処務細則中改正ニ関スル件	書の保存期間短縮と廃棄促進の方針を示してから約2週間で、庁内各課における文書の保存期間の見直し作業は終了しました。本通知では、見直し作業が終了したので、文書を物理的に整理し、廃棄文書を会計課に持ち込むよう指示が出されています。	昭和19 (1944)年	1199410970
0-6	兵事関係機秘密書類処理ニ関スル件	敗戦後、連合国軍の進駐が決定的となると、官公庁では文書の焼却に着手します。本資料は厚木警察署長名で管下の町村長に発出された、兵事関係機秘密書類の焼却を命じる文書で、「行賞ヲ終ラサル死没者ノ軍人名簿」以外は速やかに焼却し、その結果を電話または電報で報告せよという内容です。	昭和20 (1945)年	2201600334
0-7	終戦時の文書焼却に関する証言	昭和20年8月15日以降、多くの官公庁で公文書が焼却されたことはよく知られていますが、本県における文書焼却の経過等を直接的に明らかにする資料は確認できていません。そこでここでは、敗戦前後における県内での文書焼却に関する証言を紹介します。	昭和20 (1945)年	—



資料0-4 文書編纂ニ関スル規程中改正方針

資料0-7 終戦時の文書焼却に関する証言

①元神奈川県知事 藤原孝夫の証言

終戦処理の第一着手として、内務省よりの指令通達は公文書の焼却と陸海軍で保有していた特殊物資を民間へ引渡すことであり、もし、時間的に間に合わなければ、とりあえず県に引渡しをうけるようにとの指図でした。

（藤原孝夫「終戦前後の思い出」、横浜市・横浜の空襲を記録する会（編）『横浜の空襲と戦災5 一接収・復興編一』、1977年、518頁（ID：3199352953））

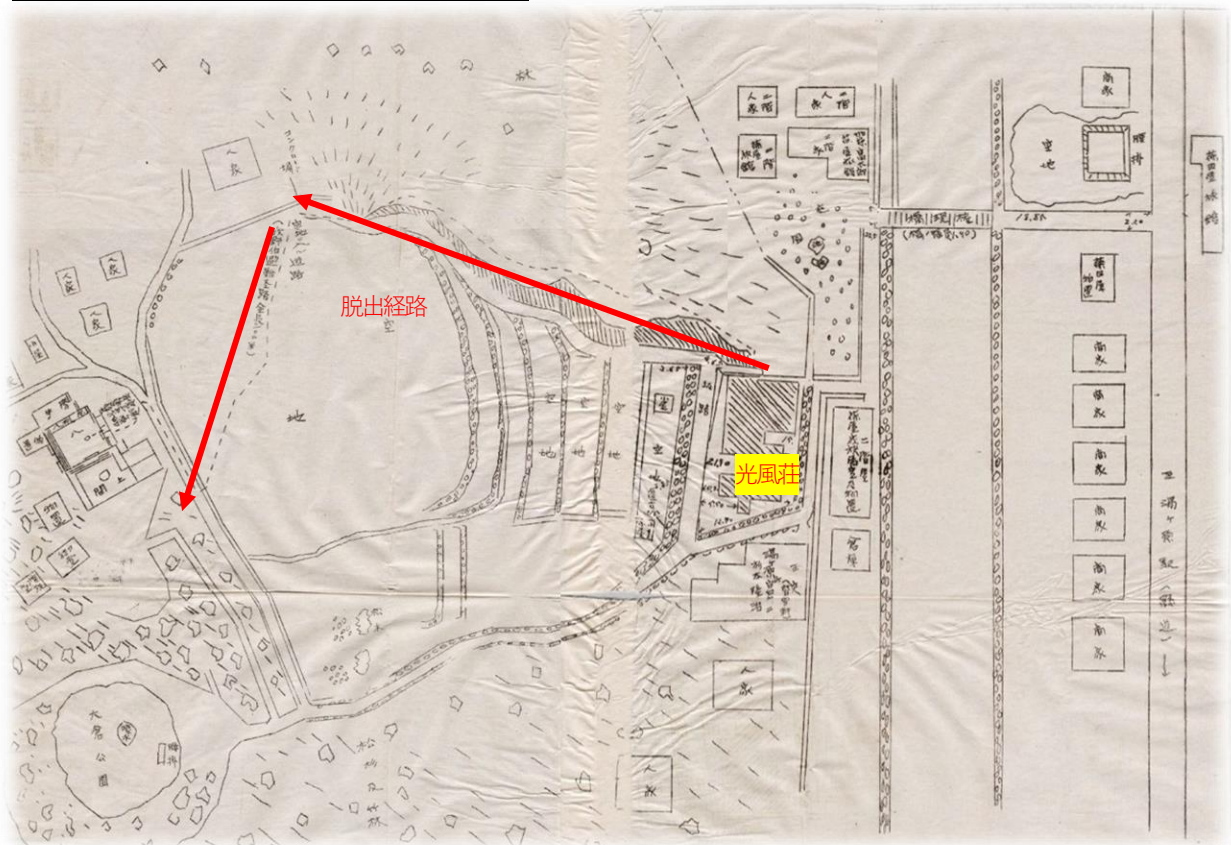
②元農事試験場長 浅井録郎の証言

遂に十五日に終戦の大詔が発せられて戦争は終わった。正午に重大放送があるというので場員一同宿直室のラジオの前に集まった。〔中略〕県庁からの連絡で重要書類を焼却する様にとのことだったが、別にこれといって焼くものもない。県庁へ行って見たら中庭に書類を放り出して焼いていた。帰場してみんなに相談したら別に機密書類もないから大掃除をして無用の反古でも焼くかということになってこれでせいせいした。

（浅井録郎「一農業技術者の経験した戦争前・中・後の神奈川県農政」『神奈川県史研究』第21号、神奈川県企画調査部県史編集室、1973年、36-37頁（ID：3199359352））

番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
第1章 近づく軍靴の音				
1-1	満州事変写真画報	昭和6(1931)年9月18日に発生した柳条湖事件をきっかけとして、満州事変が勃発します。現地の情勢は新聞等のメディアでも大きく報道され、戦時色が強まっていくこととなります。	昭和6 (1931)年	3199802579
1-2	【神奈川県特高関係資料】 不穏事件	「不穏事件」と題された本文書は、時の首相犬養毅が暗殺された5・15事件に関する資料で、警視庁からの報告が綴られています。	昭和7 (1932)年	2600200006
1-3	関東防空演習記録／ 昭和8年	昭和8(1933)年8月、本県を含む1府4県（東京府・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）で、関東地方初の本格的な防空演習が行われました。本資料はその経過や各種関連資料を神奈川県がまとめたものです。	昭和8 (1933)年	3199312637
1-4	新聞記事「生ける屍となった 浦賀苦界の娼妓／細田保安課 長にSOS 東北凶作地の犠 牲」	軍部の発言力の増大や戦争拡大の背景には、政党政治に対する不信任などとともに、長引く不況が大きく影響していました。中でも東北地方における凶作とそれによる人々の生活の窮乏は悲惨なもので、この記事では、県内へ身売りされてきた女性たちについて、県が実態調査等により乗り出したことなどが報じられています。	昭和9 (1934)年	8500010162
1-5	昭和11年 満州国皇帝陛下 関係書類	満州事変の結果、翌昭和7(1932)年には日本の傀儡国家である満州国が建国され、昭和9(1934)年には清朝最後の皇帝愛新覺羅溥儀が皇帝に即位します。その翌年、溥儀は国賓として日本を初めて訪問しますが、本資料はその際の記録です。	昭和10 (1935)年	1199405274
1-6	昭和10年度 失業応急事業 竣工調書	長引く不況による失業者救済として、本県でも多数の公共土木事業が実施されました。現在二俣川駅の北側を相鉄線沿いに走る厚木街道(県道40号線)も、昭和10年度の失業応急対策事業の一環として整備されたものです。	昭和11 (1936)年	1199503784
1-7	【神奈川県特高関係資料】 特二秘発第二三七号 牧野伸 頭伯襲撃事件二関スル件（第 三報）	昭和11(1936)年に発生した2・26事件では、神奈川県足柄下郡湯河原町もその舞台となりました。同町の伊藤屋別館光風荘に滞在中の元内大臣牧野伸頭が襲撃され、護衛に当たっていた巡査1名が死亡するなどしています。展示資料は県知事から内務大臣へ事件の概要を報告した文書の綴りで、関係者の証言等、事件の経過が詳しく書かれています。	昭和11 (1936)年	2600200120

2・26 事件時の牧野伸頭の脱出経路図（資料 1-7 所収）



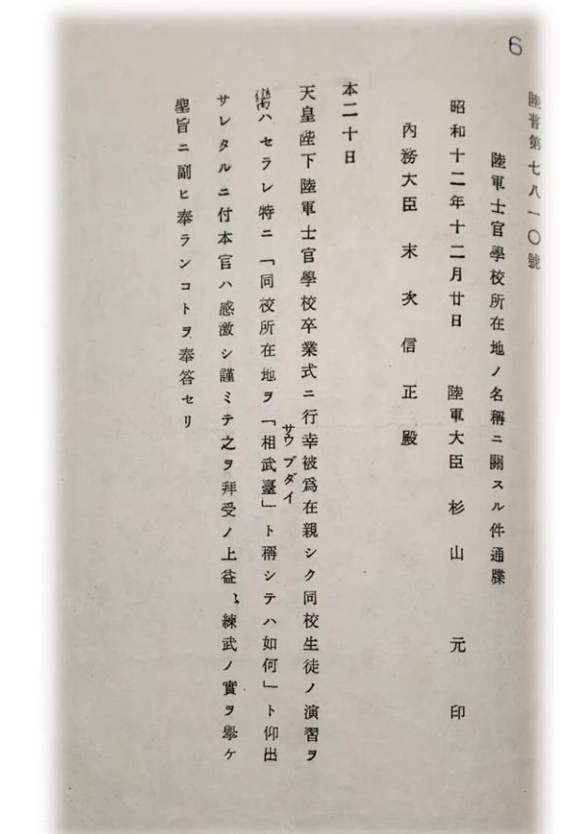
番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
第2章 日中戦争下で揺れる神奈川				
第1節 陸軍士官学校の座間移転				
2-1	横浜貿易新報	昭和11年6月、座間への「移転説」が報じられます。さらに昭和12年10月には「陸軍の揺籃(ようらん) 座間へ」と市ヶ谷からの移転式が、同年12月には昭和天皇による同校卒業式への行幸が報じられています。	昭和11～12 (1936～37) 年	8500010171 8500010176 8500010178
2-2	昭和15年 陸士所在地名称の件、町名新設、公有水面埋立地町名設定 他	昭和12年12月に陸軍士官学校の卒業式に行幸された昭和天皇が、同校の所在地を「相武台」と命名されたことを示す資料です。	昭和12 (1937)年	1199408972
2-3	写真週報 第83号	内閣情報部が発行していた国策宣伝誌『写真週報』の第83号(昭和14年9月発行)では、昭和天皇による陸軍士官学校卒業式への行幸が特集されました。	昭和14 (1939)年	3199802570
2-4	昭和14年 1～3月県参事会議議案・諮問案原稿 (1)	昭和天皇による陸軍士官学校への行幸(昭和13年12月)に対応するための神奈川県警備資料です。	昭和13 (1938)年	1199403483
2-5	昭和14年 相模原軍都建設連絡委員会書類	陸軍士官学校周辺の座間町や上溝町など2町6村を理想的な軍都とすべく、県町村により相模原軍都建設連絡委員会が設立されます。	昭和14 (1939)年	1199408769
2-6	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】〔通知〕昭和天皇陸軍士官学校行幸日程および奉送迎につき指示	昭和天皇が陸軍士官学校へ行幸されるにあたり、相模原町民が上鶴間の鹿島神社前や淵野辺駅広場にて奉送迎するよう周知を促す文書です。	昭和16 (1941)年	2201513419
2-7	【武蔵国都筑郡也辺村 原家文書】陸軍士官学校幼年生徒入学 志願書及履歴書写	時代はさかのぼりますが、明治時代の陸軍士官学校幼年生徒への入学願書の写しを参考に紹介します。	明治19 (1886)年	2200871557
2-8	昭和27年度 特殊物件受け払い台帳 陸軍士官学校	終戦により陸軍士官学校は役目を終え、その保有物品は役所や企業などに払下げ(売却)されます。	昭和27 (1952)年	1200518280
第2節 戦争による神奈川県内への影響				
2-9	北支事変画報 第1、3輯	昭和12年7月の盧溝橋事件による日中戦争の勃発を受け、大阪毎日新聞社が発行した「北支事変画報」の第一集と第三集です。	昭和12 (1937)年	3199802586
2-10	昭和12年 県参事会議案・諮問案原稿	昭和13年度神奈川県予算の検討資料です。「北支事変に伴う警備員派遣旅費」として、川崎にある石油施設の警備旅費やソ連公館員の尾行旅費などが計上されています。	昭和12 (1937)年	1199403227
2-11	【神奈川県特高関係資料】東京朝日新聞 第三号外	日中戦争の端緒となる盧溝橋事件から1か月後となる昭和12年8月に発行された新聞で、上海での爆撃が報じられています。	昭和12 (1937)年	2600200227
2-12	【神奈川県特高関係資料】読売新聞 第二万一千七百八十六号	昭和12年9月の新聞で、上海よりも奥地となる漢口や南昌への日本軍による爆撃の記事です。	昭和12 (1937)年	2600200229
2-13	昭和12年 県参事会議案・諮問案原稿 (其の三)	出征兵士の家の水道料金を免除する神奈川県議会の議案資料で、政府の呼称変更に対応し、議案文の「北支事変」を「支那事変」に変更する旨が記されています。	昭和12 (1937)年	1199403235
2-14	〔昭和20年度〕旧1 支那事変戦没者名簿 郡部	日中戦争における戦没者の氏名、階級、死亡場所、所属部隊などが一覧となった名簿です。	昭和20 (1945)年	1202090739
2-15	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】第四回支那事変報国債券 他	昭和15年12月に発売された第四回 支那事変 報国債券の売出しチラシと貯蓄債券の袋です。	昭和15 (1940)年	2201513467 2201513594
2-16	【内田寛氏寄贈文書】大日本帝国政府支那事変行賞賜金国庫債券	日中戦争へ出征した兵士に交付された70円分の国債です。毎年4月に下から1枚を切り取り、郵便局へ提出すると利子がもらえる仕組みです。	昭和15 (1940)年	2202202012

観覧後はぜひ閲覧室へお立ち寄りください！ 皆さまの御来室、お待ちしております♪

- ・展示関連図書コーナーを御用意しています。
- ・当館収蔵資料の現物を手に取って御覧いただけます。受付の職員までお申し出ください。

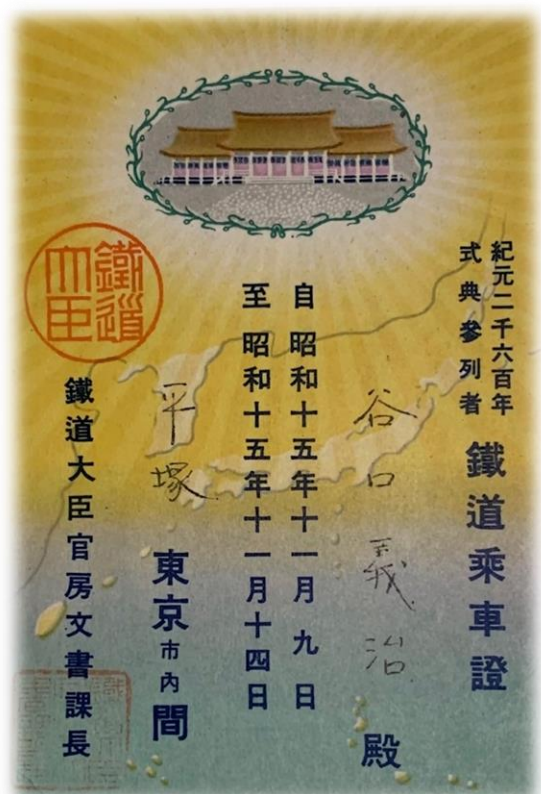


番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
第3節 紀元二千六百年記念式典の開催				
2-17	【稲木静恵氏旧蔵資料】アサヒグラフ第三十五巻二十二号	紀元二千六百年式典を特集したアサヒグラフです。式典には5万余名が参列したとのこと。	昭和15 (1940)年	2200800017
2-18	昭和16年 紀元2600年式典関係書類	式典参列者の選考は神奈川県が担いましたが、内務省からは様々な指示が出されています。	昭和15 (1940)年	1199405466
2-19	【谷口義治家資料】紀元二千六百年式典参列証 他	式典は昭和15年11月10日に宮城(皇居)外苑で挙行されました。本資料は、総理大臣の近衛文麿名義で送付された案内状と当日の参列証です	昭和15 (1940)年	2201510001 ～2,4
2-20	【谷口義治家資料】紀元二千六百年奉祝会参列証 他	式典に続き、翌11日には奉祝会が開催され、式典参列者の5万人に料理が振る舞われました。本資料はその案内状と参列証です。	昭和15 (1940)年	2201510008～ 9
2-21	【谷口義治家資料】〔紀元二千六百年式典参列者鉄道乗車および乗車証使用上の注意〕他	参列者用に配布された鉄道省と東京市電気局の乗車証です。式典前後の期間、省電と市電に乗車できました。	昭和15 (1940)年	2201510010 ～1
2-22	紀元二千六百年特別観艦式ニ於ケル外事関係取締状況ノ件	式典前月の10月11日、横浜港沖では海軍による紀元二千六百年奉祝特別観艦式が挙行され、警察による外国人への監視や取締が行われました。	昭和15 (1940)年	1202390071
2-23	【谷口義治家資料】紀元二千六百年奉祝記念 全国馬耕競技大会要項	紀元2600年を記念し、また食用増産にも資するものとして、足柄下郡豊川村（現在の小田原市東部）で全国馬耕競技大会が開催されました。	昭和15 (1940)年	2201510254
2-24	太平洋展覧会概況	昭和15年4月、横浜商工会議所は紀元2600年にあわせて「太平洋展覧会」を日本大通りの横浜商工奨励館（現・横浜情報文化センター）で開催しました。	昭和15 (1940)年	3199353159
2-25	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】紀元二千六百年記念 輝く紀元 栄える保険 帝国生命	「紀元は二千六百年。このよき年に、銃後の国民として国策協力記念と、御一家の繁栄のため、特に保険も二千六百万円の御加入をお勧めいたします」	昭和15 (1940)年	2201513312
2-26	昭和11年 県参事会議案・諮問案原稿	紀元2600年を記念して、昭和15年に東京・晴海と山下公園で開催予定だった日本万国博覧会のパンフレットです。戦争拡大により実現しませんでした。	昭和10 (1935)年	1199403151



陸軍士官学校所在地ノ名称ニ関スル件通牒（資料2-2所収）

資料2-21 紀元二千六百年式典参列者鉄道乗車証



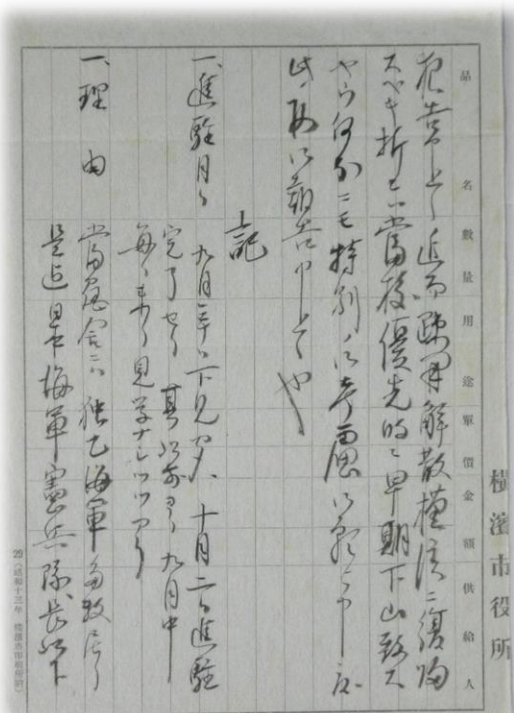
番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
第3章 太平洋戦争下の神奈川				
第1節 県の行財政の変動				
3-1	昭和16年 11月17日・12月19日・12月26日参事会議案原稿	太平洋戦争開戦前後の県参事会に提出された議案原稿が綴じられた簿冊。12月26日の参事会では、県予算に「大東亜戦争関係費」が追加されました。	昭和16 (1941)年	1199403760
3-2	昭和17年 地方事務所関係書編	県下の地方事務所の設置・運営に関する振興課の簿冊。昭和17年7月、内務省は各府県における戦時事務の敏速化のために、地方事務所の設置を呼びかけました。	昭和17 (1942)年	1199409036
3-3	昭和18年 三浦郡六ヶ町村横須賀市合併関係書類	横須賀市域拡張に関する内政部地方課の簿冊。昭和18年4月、横須賀市は隣接する6町村と合併して「大軍港都市」となりました。この時、市域面積は41.8km ² から109.5km ² にまで拡大しました。	昭和18 (1943)年	1199409121
第2節 戦時下の県民の暮らし				
3-4	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】大詔奉載(戴)町民大会開催ノ件	相模原町(現・相模原市)で12月22日開催予定の町民大会の案内。同月8日に勃発した太平洋戦争について、緒戦の「大戦果」を激烈に記しています。	昭和16 (1941)年	2201512996
3-5	【武蔵国久良岐郡松本村 金子家文書】通知、豆腐、煎果(空豆)配給の件 その他	松本町(現・横浜市港南区)の町内会長から各隣組長宛の通知。豆腐や煎菓(空豆)の配給、「国袴大護摩供法要」の参拝券配布、町内会事務取扱所移転等の通知内容からは、戦時一色になった県民のくらしがうかがえます。	昭和17 (1942)年	2200860984
3-6	【武蔵国久良岐郡松本村 金子家文書】衣料切符(乙)金子経治、外分 昭和17年2月1日～18年1月31日	商工省の衣料切符(昭和17年2月発行)2点。衣料品は切符と引き換えて買わなければなりませんでした。その上限は1年間で100点でした。必要以上に買わずに、切符を余らせるように呼びかけられていました。	昭和17 (1942)年	2200860987
3-7	【武蔵国久良岐郡松本村 金子家文書】家庭用、味噌醤油購入通帳、金子経治分	横浜市の家庭用味噌・醤油購入通帳(昭和18年2月発行)。味噌や醤油は通帳を持参して買わなければなりませんでした。ちなみに、昭和18年2～7月における金子家(4人家族。4月から5人家族)の醤油の購入量は8升2合＝約14.8リットルでした。	昭和18 (1943)年	2200860985
3-8	【神奈川県津久井郡串川村 佐藤家文書】畑作付控	串川村(現・相模原市緑区)の農家の作付控帳。戦争が変えたのは都市のくらしだけではなく、農村は作物を政府に供出しなければなりませんでした。この資料からは、米はもちろん、甘藷(さつまいも)や里芋、大根なども供出していたことがわかります。	昭和16～ 23(1941～ 48)年	2200830657
第3節 本土空襲				
3-9	昭和21年 戦時下陸海軍防空地下施設関係書類	戦時に陸海軍が設置した防空壕の「復旧」にあたって、国庫補助金を得るために戦後に作成された内務省への報告書類綴。県内各市の防空壕の位置や規模がわかる貴重な資料です。	昭和21 (1946)年	1199200467
3-10	【葛野重雄氏旧蔵資料】人員調査報告書	横浜市浜国民学校北秦野村疎開分団の人員調査報告書。127名の児童・職員を抱える同分団は、宝泉院・戸川青年会館・菩提青年会館の3か所に分かれて疎開生活を送っていたようです。	[昭和20 (1945)年]	2202004115
3-11	【葛野重雄氏旧蔵資料】〔横浜市浜ノ国民学校北秦野村疎開分団宿舍宝泉院寮平面図〕	横浜市浜国民学校北秦野村疎開分団の宿舍の一つである宝泉院の間取り図。55畳に65名の児童や職員が詰めていたことがわかります。	[昭和20 (1945)年]	2202004041
3-12	【葛野重雄氏旧蔵資料】集団疎開学童赤痢霍病経過報告	横浜市南太田小尾区民学校仙石原村疎開分団の報告書(昭和20年6月)。4月半ばから5月半ばにかけて同分団で赤痢が流行し、190名中89名が罹病、9歳の女子児童1名が死亡したとのことです。過酷な疎開生活の一端がうかがえます。	昭和20 (1945)年	2202004167
3-13	昭和20年 空襲関係綴	昭和20年2月16日～4月4日の空襲に関する報告資料。空襲火災や消防活動状況、被害状況について詳細に記録された貴重な資料です。	昭和20 (1945)年	1199409319
3-14	昭和21年 空襲被害状況調	昭和20年4月3日～5月29日の空襲に関する詳細な報告資料。資料3-13と同様、こちらも貴重な資料です。	昭和20 (1945)年	1199409334
3-15	昭和20年 非常時職員功過表綴	昭和20年5月29日の横浜大空襲とその後約20日間における県庁職員の動静について、各課から内政部長に提出された報告書類綴。「功過」と言いつつ「功」績がほとんどで「過」失は書かれていない印象を受けます。	昭和20 (1945)年	1199405681

番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
終章 敗戦、そして占領期へ				
4-1	昭和20年 官吏進退記	昭和20年8～12月における神奈川県職員の異動や入隊、死亡(戦死含む)等進退の記録。8・9月には召集解除者が連続して記載されており、敗戦直後の雰囲気がかがえます。	昭和20 (1945)年	1200400349
4-2	【相模国大住郡石田村 石井家文書2】 弔辞	故陸軍中尉・石井作衛ほか3名の戦死につき、中郡町村長会代表の弔辞(昭和20年9月13日)。兵士の死を悼みつつも、「皇国」に殉じて「男子ノ本懐」を遂げた「英霊」として称える言葉が並べられています。	昭和20 (1945)年	2199600333
4-3	〔昭和20年度〕旧3号 昭和16年12月8日以後戦没者〔名簿〕	「大東亜戦争」戦没者の死亡年月日や場所、所属、遺族の現住所、遺族への弔慰金交付履歴などが記録された簿冊。	昭和20 (1945)年	1202090743
4-4	【葛野重雄氏旧蔵資料】進駐軍二関スル報告	西戸部国民学校箱根町疎開分団の報告書(昭和20年10月2日)。15名の進駐軍憲兵が、箱根ホテルおよび児童宿舎の一部に駐在しているとのこと。こうして、日本は占領期を迎えました。	昭和20 (1945)年	2202004203

昭和21年戦時下陸海軍防空地下施設関係書類(横浜市の防空壕)(資料3-9所収)



資料4-4 【葛野重雄氏旧蔵資料】進駐軍二関スル報告

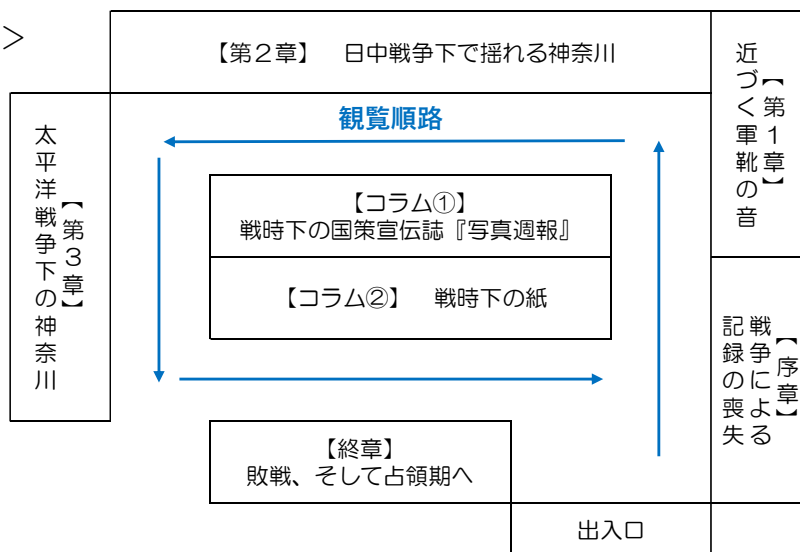


資料5-1 写真週報各号



番号	資料名	内容等	年代	資料ID等
コラム① 戦時下の国策宣伝誌『写真週報』				
5-1	写真週報 各号	意欲的な構図の写真や時代を映す記事等から、当時の空気を感じ取れるのではないのでしょうか。	昭和13～20 (1938～45) 年	3199802569 ～78
5-2	広告の変化	当初はお菓子の広告もありますが、戦費調達为国債広告が増え、昭和19年4月には広告枠自体が消滅します。	—	—
コラム② 戦時下の紙				
6-1	昭和18年 庶務関係書類	神奈川県半原織物指導所の庶務関係書類綴。同所職員の賞与や勤務状況に関する文書が綴じられていますが、なかには、紙の節約のためか裏紙を利用した文書もあります。	昭和18～ 23(1943～ 48)年	1199410724
6-2	昭和19年度 行幸啓関係綴	皇族や名士の行幸啓関係書類綴。昭和20年7月の「皇族御動静」は裏紙が利用されています。文章を調べてみると、中江藤樹『翁問答』の一部であることがわかりました。一体どこから調達した紙なのでしょう？	昭和19～ 23(1944～ 48)年	1200518376
6-3	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】昭和十九年分所得金額決定通知書	細谷政二氏の昭和19年度分の所得金額決定通知書。「決戦へ皆納税で御奉公」という文言からは戦時の雰囲気がかがえます。次に展示した、同じ人の昭和20年度分の通知書（資料6-4）と見比べてみてください。	昭和19 (1944)年	2201512913
6-4	【相模国高座郡淵野辺村 細谷家文書】昭和二十年分所得・営業純益・臨時利得金額決定通知書	細谷政二氏の昭和20年度分の所得・営業純益・臨時利得金額決定通知書。例年は「単記式」でそれぞれの金額決定通知書が発行されていましたが、空襲で印刷所が罹災したため、この年は「連記式」となったようです。なおかつ、前年分の通知書（資料6-3）よりひとまわり小さくなっています。	昭和20 (1945)年	2201512914
6-5	【旧農業総合研究所文書】昭和5年度 作況考照試験定期報告	各県から送付された麦や稲の育成状況がまとめられています。薄くてしなやかな紙に印刷、筆記がされています。	昭和5 (1930)	1202390241
6-6	【旧農業総合研究所文書】昭和10年 豊凶考照試験成績綴	昭和5年の資料に続き、薄くてしなやかな紙に印刷、筆記がされています。	昭和10 (1935)	1202390246
6-7	【旧農業総合研究所文書】昭和15年 豊凶考照試験成績報告綴	この年を境に紙の厚さに変化が見られます。これまで平均0.06～0.07mmだったものが0.1mm前後になりました。昭和19年頃の資料までこの傾向がみられます。	昭和15 (1940)	1202390251
6-8	【旧農業総合研究所文書】昭和20年 豊凶考照試験成績	この年は調査対象とした「神奈川県農事試験場」と印刷された紙の使用が少なく、「回議用紙 神奈川県農事試験場」と印刷された紙が多用されています。	昭和20 (1945)	1202390256

<展示室レイアウト>



発行:神奈川県立公文書館 (〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-6-1) 担当:内藤、関根、井ノ元、鈴木
発行年月:令和8年1月